

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
こえの大きさをかながえてはなそう すごろトーク	3	いろいろな場面で、話す声の大きさを考えて、気を付けて話すことの大切さに気付く。	音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	「話すこと聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。	すすんで伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫し、今までの学習を生かしてすごろトークをしようとしている。
きょうのできごとを書きとめよう つづけてみよう——日記	5	毎日の生活を振り返り、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、日記を書く。	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	積極的に、経験したことや想像したことなどから書くことを見付けようとし、学習課題にそって、日記を書いて友達と読み合おうとしている。
たのしくこえに出してよもう ちいさいおおきい	2	体を動かしたり、声の大きさを工夫しながら、楽しく読む。	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	すすんで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。
一とうじょう人物のしたことに 気を付けて読もう はるねこ	15	場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、音読する。	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	すすんで場面や登場人物の様子を捉え、学習課題にそって音読を聞き合ったり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。
大事なことをおとさずに聞こう ひろい公園	4	質問を落とさないように聞き、絵から答えを探す。	・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	すすんで話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、今までの学習を生かして、伝言クイズをしようとしている。
言葉の文化① 回文をたのしもう	1	回文の意味を知り、楽しみながら回文を読む。	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。		すすんで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付こうとし、学習の見通しをもって回文を楽しみながら読んでいる。
漢字のひろば① 画と書きじゅん	3	漢字の画と筆順について理解し、正しく書く。	・第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。		積極的に漢字の筆順を理解し、学習の見通しをもって、正しい筆順で漢字を書こうとしている。
一年生で学んだ漢字①	3	絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	・第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文を書こうとしている。

<p>二 じゅんじょに 気をつけて、二つの つながりを かんがえよう すみれと あり</p>	<p>15</p>	<p>ありとの関わりに気を付けながら、すみれが仲間を増やす仕組みについて説明した文章を読む。</p>	<p>・文の中における主語と述語との関係に気付いている。 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出そうとしている。</p>	<p>すすんで時間的な順序や事柄の順序を考えながら読むことを通して、学習課題に沿って、文章の中の重要な語や文を考えて選び出そうとしている。</p>
<p>分かりやすくきろくしよう かんさつ発見カード</p>	<p>5</p>	<p>観察して同じところや違うところを見付け、考えが明確になるように事柄の順序にそって簡単な構成を考え、「かんさつ発見カード」を書く。</p>	<p>・文の中における主語と述語との関係に気付いている。 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。</p>	<p>積極的に、発見したことをもとに簡単な構成を考え、学習課題にそって、「かんさつ発見カード」を書こうとしている。</p>
<p>言葉の文化② むかしの うたを 読もう</p>	<p>1</p>	<p>平仮名四十七文字を全て使った歌や数字が歌詞に組み込まれた遊び歌があることを知り、音読する。</p>	<p>・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。</p>		<p>すすんで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付こうとし、学習の見通しをもって音読しようとしている。</p>
<p>言葉の ひろば① かたかなで 書く 言葉</p>	<p>4</p>	<p>片仮名で書く言葉の種類を知り、正しく使い分ける。</p>	<p>・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。</p>		<p>積極的に片仮名で書く語の種類を知ろうとし、今までの学習を生かして文を書こうとしている。</p>
<p>読書の ひろば① 本で しらべよう</p>	<p>3</p>	<p>図書館で本を探す方法を知り、本を探して読む。</p>	<p>読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。</p>	<p>「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。</p>	<p>図書館で本を探す方法を知り、自分の目的の本を探す際に役立てようとしている。</p>
<p>三 本でしらべてしょうかいしよう 「生きものクイズ」でしらせよう</p>	<p>8</p>	<p>経験したことや本で調べたことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。</p>	<p>共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>積極的にクイズにしたい生き物について調べたり必要な事柄を集めたりして、学習課題にそって、「生きものクイズカード」を書こうとしている。</p>

漢字の ひろば② なかまの 言葉と 漢字	2	意味をもとに仲間に分けた漢字について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 		積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって、漢字の意味のつながりを知ろうとしている。
言葉の ひろば② 「言葉のなかまさがしゲーム」をしよう	2	言葉が体系性をもって存在していることに気付き、上位語下位語の概念に基づいて、言葉を探したりまとめたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 		積極的に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって言葉を分類しようとしている。
四 くりかえしに 気をつけて、とうじょう人物の 様子を 読もう きつねの おきやくさま	15	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 		すすんでお話の中の言葉や表現がもつよさを感じるとともに、学習課題にそって自分の思いや考えを伝え合おうとしている。
言葉の 文化③ いなばの しろうさぎ	6	古くから伝わっている話を、興味をもって聞き、場面の様子を想像する。	昔話や神話伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	すすんで昔話や神話伝承などの読み聞かせを聞き、今までの学習を生かして昔話や神話伝承の書かれた本を探して読もうとしている。
言葉の ひろば③ うれしく なる 言葉	5	繰り返し出てくる言葉に気を付けて読み、繰り返しのあるお話を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 	「話すこと聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。	積極的に言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって「うれしくなる言葉」を伝え合おうとしている。
読書の ひろば② ひろがる 読書の せかい	1	「オリジナル図書カード」や「読書ゆうびん」を作成する活動を通して、いろいろな本があることを知る。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	読書生活を振り返ったり、読みたい本を選んだりしている。
じゅんじょを考えて話そう 話したいな、聞きたいな、夏休みのこと	6	夏休みのできごとを、順序を考えて話したり、友達の話聞いて感想を述べ合ったりする。	音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	「話すこと聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。	すすんで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして夏休みのできごとを紹介しようとしている。
しを読もう てんとうむし	3	言葉のリズムや響きを楽しみながら、イメージの自由な広がりをとおして詩を楽しむ。	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	すすんで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって感想を発表しようとしている。

漢字のひろば③ 二つの漢字でできている言葉	2	二つの漢字でできた言葉の構成を確認し、二つの漢字のつながり方を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。 		積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見直しをもって、二つの漢字でできている言葉を読んだり書いたりしようとしている。
一年生で学んだ漢字②	3	絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。 	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	積極的に文の中における主語と述語の関係に気付こうとし、学習の見直しをもって文や文章を書こうとしている。
五 登場人物が考えていたことをそうぞうしよう わにのおじいさんのたからもの	14	文章を読み、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 	学習課題にそって、すすんで登場人物が考えていたことを、本文の言葉を根拠に想像しようとしている。
言葉のひろば④ はんたいのいみの言葉、にたいのいみの言葉	3	対義語や類義語があることを知り、身近な言葉から対義語や類義語を集める。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 		積極的に反対の意味をもつものや、似た意味をもつものがあることに気付こうとし、学習の見直しをもって言葉を使おうとしている。
六 まとまりのある文章を書こう 町の「すてき」をつたえます	11	生活科の町たんけんで見付けたことや分かったことをもとに、自分の思いや考えが明確になるように事柄の順序にそって簡単な構成を考え、町のすてきを伝える文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・文の中における主語と述語との関係に気付いている。 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	他教科での学習や経験を関連させながら、事柄の順序にそって構成を考え、報告する文章を書いている。
国語の学習 つながる ひろがる	1	一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。		<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 	すすんで経験したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして思い出したことや下巻の教科書でどんな学習をしたか共有しようとしている。
一 じゅんじょや様子をあらわす言葉に気を付けよう さけが大きくなるまで	11	さけの成長について、季節や場所、さけの様子の移り変わりを考えながら、内容の大体を読む。	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 	積極的に情報と情報との関係について理解しようとして、学習課題にそって、文章の中の重要な語や文を考えて選び出したりしている。

二まいのしゃしんのちがいをくらべよう この間に何があった？	2	1枚目の写真から視点を定め、2枚目の写真になった際、何が起きたことを想像する。	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	すすんで二枚の写真のちがいを比べることを通して、学習課題にそって、二枚の写真の間にあった出来事を想像しようとしている。
二 様子をよく見て、くわしく書こう おもしろいもの、見付けたよ	10	見付けた物をよく見て、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫して、友達に様子が伝わるように詳しく文章を書く。	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。	・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。	すすんで、友達に自分が見付けたものの様子がわかるように書き表し方を工夫し、学習課題にそって、文章に対する感想を伝え合おうとしている。
言葉の文化④ 「あいうえお」であそぼう	1	折句の文を読み、自分の名前や好きなものの名前を使って折句の文を作る。	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		すすんで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づこうとし、学習の見直しをもって折句の文を作っている。
三 心にのこったところをしよう かいし合おう ないた赤おに	7	登場人物の気持ちの移り変わりを考えながら、『ないた赤おに』を読み、心に残ったことを話し合う。	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	すすんで言葉や表現に着目しながらお話を読み、学習課題にそって繰り返し読むことで、初読の感想から自分の考えを深めようとしている。
読書の広場③ 「お話しじゅつかん」を作ろう	5	自分の読んだ本の中でいちばん心に残ったところを絵に描いて紹介する。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	「お話しじゅつかん」を作るという活動に見通しをもち、すすんで今までに読んできた本を振り返って読んだり、カード作りに取り組んでいたりしている。
四 しつもんしたり答えたりして、つないで話し合おう 「クラスお楽しみ会」をひらこう	8	話し合いでクラスで行う遊びを決め、「クラスお楽しみ会」を開く。	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。	積極的に互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないで、学習課題にそって「クラスお楽しみ会」で遊ぶ決めるために、グループで話し合おうとしている。
心がうごいたことを書こう みじかい言葉で	5	語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方をくふうして心が動いたことを短い言葉で書く。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	すすんで言葉の書き表し方を工夫し、学習の見直しをもって、心が動いたことを短い言葉で書いたり友達作品のよさを見付けようとしていたりしている。
漢字の広場④ 漢字のつかい方と読み方	2	漢字の使い方や読み方、意味などを考えて漢字を正しく使う。	・第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。		積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を読み、学習の見直しをもって漢字を正しく使おうとしている。

一年生で学んだ漢字③	2	絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	・第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文や文章を書こうとしている。
五 せつめいのくふうをたしかめて読み、せつめい書を書こう ジャンプロケットを作ろう	12	順序を示す書き方を知る。	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	すすんで説明の工夫を見付けようとし、学習課題にそって、感じたことや分かったことをノートにまとめている。
五 せつめいのくふうをたしかめて読み、せつめい書を書こう おもちゃのせつめい書を書こう	7	おもちゃの作り方や遊び方について、順序にそって構成を考え、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫して説明書を書く。	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	すすんで説明する順序に注意し、学習課題にそって、分かりやすく説明する文章を書こうとしている。
しを読もう せかいじゅうの海が	2	音読をとおして言葉のリズムや響きを楽しむとともに、無限に広がる想像の世界を楽しむ。	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	積極的に文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、学習の見通しをもって想像したことを発表しようとしている。
六 場面や人物の様子をそうぞうして、音読げきをしよう かさこじぞう	11	文章を読んで、場面や登場人物の様子に着目して具体的に想像し、伝え合ったり演じたりする。	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	すすんで、場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって音読発表会をしようとしている。
言葉の文化⑤ かるたであそぼう	3	日本に古くから伝承されている昔遊び(かるた)を知り、実際に遊ぶこととおしてその魅力を知る。	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。		すすんで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付く、学習の見通しをもってかるたを楽しもうとしている。
じゅんじょに気を付けてせつめいしよう おはじきのあそび方	4	昔の遊びについて、遊び方を調べて説明する。	音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	「話すこと聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。	積極的に相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして、昔の遊びの遊び方について説明しようとしている。
言葉の広場⑤ 主語とじゅつ語	3	文を読んで、主語と述語の対応を考え、正しく使うことができる。	文の中における主語と述語との関係に気付いている。		積極的に文の中における主語と述語との関係に気付く、学習の見通しをもって文を読んだり書いたりしようとしている。

漢字の広場⑤ 同じ読み方の漢字	2	同じ読み方の漢字を集め、漢字を正しく使う。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。 		積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって、同じ読み方の漢字を正しく使おうとしている。
七 思い出をくわしく書いて、読みかえそう こんなことができるようになったよ	13	経験したことやできるようになったことなどについて、必要な事柄を集めたり確かめたりして文章を書き、まちがいがいか読み返す。	<ul style="list-style-type: none"> 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 	粘り強く文章を読み返して、今までの学習を生かして、まちがいを直そうとしたり確かめたりしている。
言葉の広場⑥ 音や様子をあらわす言葉	3	擬声語や擬態語の働きなどを理解し、文の中で使う。	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。		積極的に、音や様子を表現することができる言葉があることに気付き、学習の見通しをもって文の中で使おうとしている。
漢字の広場⑥ 組み合わせでできている漢字	2	同じ部分をもつ漢字を集め、漢字を正しく使う。	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。 		積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって、同じ部分をもつ漢字を正しく使おうとしている。
一年生で学んだ漢字④	2	絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。 	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文を書こうとしている。
八 何が、どのようにかわったかに気をつけて読み、お話をしようかいしよう アレクサンダとぜんまいねずみ	15	何が、どう変わったかに気をつけて読み、あらすじをまとめてお話を紹介する。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 	すすんで自分の体験と結びつけながらお話を読み、登場人物の行動や場面の様子に着目し、今までの学習を生かしてあらすじをまとめようとしている。
国語の学習 これまで これから	2	一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。		<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 	すすんで経験したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして思い出したことや三年生でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。

	280				
--	-----	--	--	--	--